

ハンガリー経済・金融概況

Main Economic & Financial Indicators (Hungary)

経済調査室

Economic Research Office

(照会先：石原尚子 naoko.isihara@uk.mufg.jp)

概況	消費
<p>ハンガリーの景気は、年初までは消費と輸出を支えに拡大ペースを維持し、第 1 四半期の実質 GDP 成長率は、前期同様、前期比+0.8%となった。ただし、足元の推移をみると、輸出の勢いに若干驕りがみえるほか、建設部門の生産が 5 月にマイナスとなるなど、投資の鈍化もより鮮明になっている。一方、インフレ率は、年初以降の原油価格の反転や国内消費の回復などを背景に 5 月以降プラスに転じている。中銀は 3 月以来連続利下げを実施してきたが、足元 7 月の利下げを最後に金融緩和を打ち止めることを示唆した。</p> <p>先行きについては、輸出は減速しつつもユーロ圏の景気持ち直しを背景に増加基調を維持することに加え、堅調な個人消費が景気拡大を支えよう。低インフレや雇用情勢の改善が消費を押し上げるとみる。また、家計向け外貨建ローンのフロント変換による為替リスクの低減、金融危機以前に契約された外貨建ローンに係わる手数料の一部返還も追い風となる。総固定資本形成は、減速が進むものの、中小企業向け貸出優遇策の延長や消費拡大に伴う企業の投資意欲回復などが下支えとなり、マイナス成長は回避すると予想する。</p> <p>中銀は 6 月のインフレレポートの中で 2015 年の成長率を前年比+3.3%と前回の見通し値(同+3.2%)から若干引き上げた。個人消費は、前回同様同+3.2%であったが、輸出は、同+7.3%から同+8.0%に引き上げられた。一方、総固定資本形成は、同+5.2%から同+2.2%へ引き下げられている。</p>	<p>6 月の実質小売売上(営業日調整済)は、前年比+6.2%と前月の同+5.4%から加速した。食料品、飲料、タバコといった品目や自動車燃料の売上が前月を上回る伸び率を記録した。インフレ率の低下に伴う実質賃金の増加や雇用情勢の改善など消費を取り巻く環境は良好である。直近 4-6 月の失業率も 6.9%(未季調値の 3 ヶ月平均)と前年同期から 1.2%ポイント低下している。一方、7 月の GKI-Erste 消費者信頼感指数は▲26.0 と比較的高水準を維持しているものの、昨年 4 月以降緩やかな低下基調にある。ウクライナ紛争の混迷や対ロ経済制裁の延長、力強さに欠けるユーロ圏の景気回復など、国外の先行きに不透明要因が根強く残り、これらが消費者心理に若干影を落としているとみられる。</p> <div data-bbox="845 772 1436 1164"> <p>(バランス) 景況感</p> <p>● GKI-Erste消費者信頼感指数 — 一般経済状況</p> <p>2007 2008 2009 2010 2011 2012 2013 2014 2015</p> <p>(資料) Macrobondより三菱東京UFJ銀行経済調査室作成 (年)</p> </div>
GDP	物価、金融政策
<p>2015 年第 1 四半期の実質 GDP 成長率は前期比+0.8%(前年比+3.5%)と前期に引き続き堅調な拡大ペースを維持した。需要項目別の内訳をみると、個人消費は実質賃金の増加や雇用情勢の改善に下支えられ、同+0.7%(同+2.7%)と前期から加速し、成長の牽引役を果たした。一方、総固定資本形成は、前期比+2.7%(前年比▲6.7%)と前期比では建設投資の減少で大きく落ち込んだ前期からは改善したものの、前年比では、2013 年第 1 四半期以来のマイナスとなった。2007-13 年期の EU 予算の補助金消化に伴う投資プロジェクトの終了が下押し要因となっている。純輸出については、輸出が堅調な推移を示したことで、成長率への寄与度は前期に引き続きプラスとなった。</p> <p>実質GDP成長率と需要項目別寄与度</p> <div data-bbox="127 1523 766 1881"> <p>(前期比、%)</p> <p>■ 個人消費 ■ 政府消費 ■ 総固定資本形成 ■ 純輸出 ○ GDP</p> <p>2010 2011 2012 2013 2014 2015</p> <p>(資料) Macrobondより三菱東京UFJ銀行経済調査室作成 (年)</p> </div>	<p>6 月の消費者物価上昇率は前年比+0.6%と 2 ヶ月連続でプラスとなった。生鮮食料品を中心に食料品価格が前年比+1.4%となったほか、サービス価格も前年比+1.9%とインフレ押し上げ要因となった。一方、ガソリン等を含む燃料は同▲7.3%と、引き続きインフレ率を押し下げているものの、その下げ幅は、年初に底を打った原油価格などを反映し縮小傾向にある。</p> <p>中銀の金融政策委員会は、7 月 21 日、政策金利を 0.15%ポイント引き下げ、1.35%とした。3 月以来 5 度目(累計 0.75%ポイント)の利下げである。堅調な内需に支えられ、景気は拡大ペースを維持するも、輸入インフレ圧力の弱さや緩和的な需給バランスなどを背景に低インフレは続くとした。同時に、政策金利は、中期的なインフレ目標達成に必要な水準に達したとし、金融緩和の打ち止めを示唆した。</p>
生産	財政政策
<p>5 月の鉱工業生産(稼働日調整済)は前年比+6.2%と、前月(同+6.3%)からほぼ横ばいで推移。自動車等の輸送機器部門が同+16.0%と堅調な拡大ペースを維持する一方、機械設備などの生産は同▲4.9%と 3 ヶ月連続のマイナスとなった。製造業購買担当者指数(PMI)は緩やかながら低下傾向にあり(7 月は 50)、生産の伸びが先行き減速する可能性を示唆している。</p>	<p>2014 年の財政赤字は対 GDP 比 2.6%と、公共投資の増加を背景に 2013 年(同 2.5%)から拡大した。ただし、景気拡大に伴う増収増加や徴税制度の効率化による付加価値税(VAT)の申告漏れ減少などから、政府の 2014 年目標値であった同 2.9%は下回った。政府は 2015 年の目標値を同 2.4%に設定している。</p> <p>ハンガリー議会は 6 月に 2016 年の予算案を承認。予算案には 2011 年に一律化された所得税率の引き下げ(16%→15%)や銀行税率(上限)の引き下げ(0.53%→0.31%)などが盛り込まれている。政府は 2 月に欧州復興開発銀行(EBRD)と交わした覚書で「安定した経済成長達成のためには銀行部門の収益増加、貸出能力の改善が不可欠」とし、銀行税率の引き下げを確約。銀行税は、2016 年から 2019 年にかけて、段階的に引き下げられることになっている。</p>

# ハンガリー経済・金融概況

## 1. 年、四半期

	2012	2013	2014	14/Q2	Q3	Q4	15/Q1	Q2
名目GDP実額 (10億米ドル)	126.8	133.5	136.9	35.3	35.1	35.0	26.9	-
実質GDP成長率 (q/q, %)	▲ 1.5	1.5	3.6	1.0	0.6	0.8	0.8	-
(y/y, %)				4.1	3.3	3.3	3.5	-
(民間消費支出) (q/q, %)	▲ 2.0	0.0	1.6	0.7	0.3	0.6	0.7	-
(y/y, %)				2.6	1.0	1.9	2.7	-
(総固定資本形成) (q/q, %)	▲ 4.1	3.7	12.0	2.9	2.5	▲ 10.9	2.7	-
(y/y, %)				18.8	13.2	1.9	▲ 6.7	-
鉱工業生産(稼働日調整済み) (y/y, %)	▲ 1.8	1.1	7.6	10.4	6.8	3.9	7.9	-
実質小売売上(営業日調整済み) (y/y, %)	▲ 1.9	1.6	5.0	4.6	3.2	5.3	6.7	-
銀行貸出伸び率 (y/y, %)	▲ 13.2	▲ 4.2	▲ 2.3	▲ 2.4	▲ 3.8	▲ 2.3	▲ 7.6	▲ 8.0
消費者物価上昇率 (y/y, %)	5.7	1.7	▲ 0.2	▲ 0.2	▲ 0.1	▲ 0.7	▲ 1.0	0.3
平均賃金上昇率 (y/y, %)	4.7	3.4	3.1	4.3	2.5	3.7	4.1	-
失業率* (%)	11.0	10.3	7.9	8.1	7.7	7.1	7.6	7.2
貿易収支* (百万米ドル)	8,523	8,708	8,501	1,711	2,345	1,768	2,782	-
輸出額 (百万米ドル)	102,830	108,015	112,775	29,081	28,246	27,095	25,147	-
輸出伸び率 (y/y, %)	▲ 7.5	5.0	4.4	9.4	5.0	▲ 4.8	▲ 11.3	-
輸入額 (百万米ドル)	94,308	99,307	104,274	27,370	25,901	25,327	22,365	-
輸入伸び率 (y/y, %)	▲ 7.0	5.3	5.0	11.1	5.5	▲ 3.3	▲ 12.9	-
経常収支 (百万米ドル)	2,287	5,398	5,686	590	2,107	1,088	2,226	-
資本収支 (百万米ドル)	9,103	13,528	15,520	3,007	3,867	5,728	2,925	-
対内直接投資 (百万米ドル)	14,375	3,098	4,893	▲ 1,871	2,244	2,591	615	-
外貨準備高 (百万米ドル)	44,506	46,389	41,901	49,145	45,059	41,901	39,463	38,614
対外債務残高 (百万米ドル)	168,056	164,751	143,618	167,084	152,136	143,618	135,201	-
株価指数	18,060	18,652	17,932	18,421	18,031	17,270	17,709	21,993
短期金利(interbank BUBOR 3m) (%)	6.98	4.30	2.41	2.54	2.17	2.10	2.07	1.65
EU調整長期金利(Govt.10y bond yields) (%)	7.89	5.92	4.81	5.02	4.55	3.84	3.18	3.58
Forint/USD	225.11	223.60	232.77	223.06	235.74	247.33	274.19	276.74
Forint/Euro	289.30	296.93	308.71	306.00	312.24	308.76	308.99	305.85
Forint/GBP	356.61	349.68	383.08	375.45	393.43	391.29	415.18	424.17

## 2. 月次

	14/12	15/01	2	3	4	5	6	7
鉱工業生産(稼働日調整済み) (y/y, %)	4.6	8.6	6.0	9.0	6.3	6.2	-	-
実質小売売上(営業日調整済み) (y/y, %)	5.7	8.6	6.4	5.1	5.0	5.4	6.2	-
銀行貸出伸び率 (y/y, %)	▲ 2.3	▲ 1.3	▲ 3.6	▲ 7.6	▲ 7.6	▲ 6.4	▲ 8.0	-
消費者物価上昇率 (y/y, %)	▲ 0.9	▲ 1.4	▲ 1.0	▲ 0.6	▲ 0.3	0.5	0.6	-
平均賃金上昇率 (y/y, %)	6.7	4.0	3.4	4.9	3.6	1.5	-	-
失業率* (%)	7.1	7.4	7.7	7.8	7.6	7.1	6.9	-
貿易収支* (百万米ドル)	428	814	964	1,004	536	571	-	-
輸出額 (百万米ドル)	7,965	7,968	8,201	8,978	8,229	7,983	-	-
輸出伸び率 (y/y, %)	▲ 1.1	▲ 11.5	▲ 11.4	▲ 11.1	▲ 15.5	▲ 17.6	-	-
輸入額 (百万米ドル)	7,538	7,154	7,237	7,974	7,692	7,413	-	-
輸入伸び率 (y/y, %)	▲ 2.7	▲ 13.9	▲ 11.2	▲ 13.5	▲ 14.8	▲ 20.3	-	-
株価指数	16,907	16,385	17,868	18,888	21,648	22,437	21,923	22,161
短期金利(interbank BUBOR 3m) (%)	2.10	2.10	2.10	2.02	1.80	1.67	1.49	1.39
EU調整長期金利(Govt.10y bond yields) (%)	3.62	3.18	3.07	3.29	3.28	3.59	3.86	-
Forint/USD	253.02	271.66	269.98	280.56	277.03	274.72	278.36	282.94
Forint/Euro	311.29	316.46	306.88	303.45	299.44	306.16	311.96	311.53
Forint/GBP	395.10	411.86	413.99	419.58	414.64	424.54	433.35	440.20

(注) 失業率は3カ月移動平均。貿易収支は通関データ。

(資料)ハンガリー統計局、ハンガリー中央銀行、Macrobond 他

当資料は情報提供のみを目的として作成されたものであり、金融商品の売買や投資など何らかの行動を勧誘するものではありません。ご利用に関しては、すべてお客様自身で判断下さいますよう、宜しくお願い申し上げます。当資料は信頼できるとされる情報に基づいて作成されていますが、当室はその正確性を保証するものではありません。内容は予告なしに変更することがありますので、予めご了承下さい。また、当資料は著作物であり、著作権法により保護されています。全文または一部を転載する場合は出所を明記してください。